第四講　疑問形　／　反語形

一　疑問形

※送り仮名が「〜ンや」の場合は、**反語**である。

A「文頭形」

① **何・奚・胡・曷**＝なんゾ〜／（どうして〜か）

＊　左記の二字熟語としてよくでる。

「**何不**二〜一」＝なんゾ〜ざル／（どうして〜しないのか）

「**何能**〜」＝なんゾよク〜／（どうして〜できるのか）

（例）何不謂。（　　　　　　）（　　　　　　）

② **何**＝
- **なにヲカ**〜／（何を〜か）
- いづレノ〜／（どの〜か）
- いづクニ（カ）〜／（どこに〜か）
- いづレ〜／（どちらの〜）

＊　何日＝いづレノひニカ／（いつ）

＊　何処＝いづレノところニカ／（どこ）

（例）何ヲカ能クスル。〔何をか能くする。〕（何ができるのか。）

③ **何為**＝なんすレゾ～／（どうして～か）

＊ 何為（ル）者（ゾ）＝なんするものゾ／（何者か）

＊ 何（ヲ）為（なス）二～（ト）一＝なにヲ～トなス／（何を～と判断するのか）

（例）何為去（ルヤ）レ我。〔　　　　　　〕（どうして私を追い出すのか。）

④ **誰**＝
- たれカ～／（誰が～か）
- たれヲカ～／（誰を～か）

＊ 誰（カ）～者（ゾ）＝たれカ～ものゾ／（誰が～か）

⑤ **孰**＝
- 「多数」…たれカ～／（誰が～か・どれが～か）
- 「二者択一」…いづレカ～／（どちらが～か）→二者が必ず示される

⑥ **何以**＝なにヲもつテ（カ）～／
- （「理由」…どうして～か）
- （「手段」…何によって～か）

⑦ **安・悪・焉**＝
- いづクニカ～／（どこに～か）
- いづくンゾ～／（どうして～か）

⑧ **如何・奈何・若何**～＝**いかんゾ**～／（どうして～か）

＊ **文末にあれば「いかんセン」**（B「文末形」⑤参照）

B 「文末形」

① **～乎・哉・耶・邪・也・与・歟。** ＝や・か／（～か）

② **～何也。** ＝～ハなんゾや／（～はどうしてなのか）

（例）云フハレ登ルトレ第ニ、何也。〔第に登ると云ふは、何ぞや。〕（試験に合格すると言うのは、どうしてなのか）

③ **幾何。** ＝いくばく（ゾ・カ・ナラン）／（どれくらいだろうか）　＊ 文中の場合も有り。

★「反語」の場合は（～どれくらいだろうか、いや、どれほどでもない）と訳す。

④ **何如・何奈・何若。** ＝**いかん**／（～はどのようであるか）【状態・結果】

（例）以五十歩笑百歩、則何如。〔五十歩を以て百歩を笑はば、則ち何如。〕

（自分は五十歩しか逃げていないと言って百歩逃げた人を笑ったとしたら、どうだろうか。）

⑤ **如何・奈何・若何。** ＝**いかん**（**セン**）／（～はどうするか）【方法】

＊ 如〇何＝〇ヲいかんセン／（〇をどうすればよいか）

★「反語」の場合は（～どうしようもない）と訳す。

（例）若我何。〔　　　　　　　　　〕（私をどうしようか、いや、どうしようもない。）

問一　「奈何」の読み方として、最も適当なものを次の中から選べ。

①　なんぞ　②　いづれぞ　③　いかんぞ　④　なんすれぞ　⑤　いづくんぞ

問二　「何以知レ之」の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　それがわかるはずがあるだろうか
イ　そのことがいつわかったのか
ウ　何としてもそれを知りたいのか
エ　どうしてそれがわかるのか
オ　誰（だれ）がそれを教えてくれたのか

問三　次の傍線部を「此」が指す内容を明示して口語訳しなさい。

禹出デテ見二罪人ヲ一、下リテレ車ヲ而泣クレ之ニ。左右曰ハク、「〈中略〉<u>君王何為レゾ痛ムコト之至レルカ二於此ニ一也。</u>」

注　禹…中国古代の伝説上の聖天子。
　　左右…側近。近臣。

二 反語形

＊ **一 疑問**と同じ形のものは基本的に省略します（その場合は**送り仮名「〜ン・〜ンや」が反語の目印**。白文の場合は**文脈判断**）。
それ以外の「**反語**」特有の句法をここで紹介します。

① **豈**〜（**哉・乎**）＝あニ〜**ン**（**や**）／（どうして〜だろうか、いや、〜ない）

（例）豈ニ古之糸(し)竹(ちくナラン)乎。〔豈に古の糸竹ならんや。〕（どうして昔の楽器であろうか、いや、ちがう。）

② **安・悪・焉・寧**〜（**哉・乎**）＝いづクンゾ〜**ン**（**や**）／（どうして〜だろうか、いや、〜ない）

（例）国焉得レ無レ亡(ほろブル)乎。〔　　　　　　〕（　　　　　　）

③
豈能〜＝あニよク〜**ン**／（どうして〜できるだろうか、いや、できない）
安能〜＝いづクンゾよク〜**ン**／（どうして〜できるだろうか、いや、できない）
誰能〜＝たれカよク〜**ン**／（誰が〜できるだろうか、いや、誰もできない）

④ **敢不〜乎**＝あへテ〜ざ**ランや**　／（どうして〜しないことがあろうか、いや、〜する）

（例）敢不知乎。〔　　　〕（　　　）

⑤ **何Ｎ之有**＝なんノＮカこレあ**ラン**／（何のＮがあろうか、いや、何のＮもない）

（例）何難キコトカ之有。〔　　　〕（　　　）

⑥ **如何・奈何・若何**

〈文頭〉いかんゾ〜**ン**／（どうして〜だろうか、いや、〜ない）

〈文末〉〜ハいかんセン／（〜はどうしようもない）

⑦ **可〜乎**＝〜**べケンや**／（〜できるだろうか、いや、できない）

（例）何ゾ可ケンヤレ緩ゆるクス。〔何ぞ緩くすべけんや。〕（どうして緩めることができようか、いや、できない。）

＊ 疑問詞〜ン
＊ 〜ンや
疑問詞〜ンや
｝＝反語
＊ 〜ン＝推量

問四 「豈古之鶯(おう)花(かナラン)乎。」の傍線部の読みを、送り仮名も含めて平仮名で示せ。また全文を口語訳せよ。

読み＝

口語訳＝

問五 「晏(あん)子(し)焉知礼」を反語の意味になるように、すべて平仮名で書き下し文にせよ（現代仮名遣いでもよい）。

問六 「豈有(ラン)下以(テシテ)二忠信(ヲ)一而得(ル)レ罪(ヲ)者上乎。」を現代語訳せよ。

● 人何ゾ頼ラン焉。〔人何ぞ頼らん。〕（人がどうして頼るだろうか、いや、頼らない。）

● 何ノ功ナルか也。〔何の功なるか。〕（どのような功績であるか。）

問七　「此所レ用翠羽幾何」の解釈として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　これを作るのに必要な翠羽はとても多い。
イ　これを作るのに必要な翠羽はいくらでもある。
ウ　これを作るにはある程度の翠羽を必要とする。
エ　これに使われた翠羽はたかが知れている。
オ　これに使われた翠羽はどれくらいか分からない。

問八　「城中安得レ有ニ此獣一」の解釈として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　まちに虎がいて安全といえるのだろうか
イ　まちに虎がいるはずがないではないか
ウ　まちに鼠がいるのは当然ではないか

復習問題　第四講　疑問形／反語形

①「孰 能 使二之 然一」の読み方として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　孰(たれ)ぞ能(よ)く之を然らしめん。
イ　孰(たれ)の能(のう)か之(ゆ)きて然らしめん。
ウ　孰(たれ)か能(よ)く之をして然らしめん。
エ　孰(いづく)んぞ能(よ)く之を然りとせしめん。
オ　孰(いづ)れの能(のう)か之をして然らしめん。

②「可ケンレ不ルレ慎マ歟や」にはどのような句形が用いられているか。最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　使役　　イ　反語　　ウ　限定
エ　比較　　オ　禁止

③「豈 同二他 妓一哉。」の意味として、最も適当と思われるものを次の中から選べ。

ア　どうしても他の妓女たちと同じにしたいのです。
イ　どうやら他の妓女たちと同じらしいのです。
ウ　どうして他の妓女などと同じでありましょうか。
エ　もちろん他の妓女たちと同じはずです。

④ 「不二敢西向一、」について、（A）その読み方と、（B）これを「敢不二西向一、」と変えた場合の読み方として適当なものを、それぞれ次のa～f中から一つずつ選び、その組み合わせを後の中から一つ選べ。

a　西に向かふことをあへてせず、
b　あへて西せずして向かはず、
c　あへて西に向かはず、
d　あへて西に向かはざらんや、
e　あへて西せずして向かはざらんや、
f　西に向かふことをあへてせざらんや、

（A）―（B）
ア　a―e
イ　a―f
ウ　b―d
エ　b―f
オ　c―d
カ　c―e

【第四講】

一　A　①〔何ぞ謂はざる。〕（どうして言わないのか。）

③〔何為れぞ我を去るや。〕

B　⑤〔我を若何せん。〕

二　②〔国焉くんぞ亡ぶる無きを得んや。〕（どうして国が亡びないことがあろうか、いや、亡びる。）

④〔敢へて知らざらんや。〕（どうして知らないことがあろうか、いや、知っている。）

⑤〔何の難きことか之れ有らん。〕（何の難しいことがあろうか、いや、何も難しくない。）

〈模範解答〉

問一　③

問二　エ

問三　君王はどうして罪人の為に車から降りて泣くほど悲しんでいるのですか

問四　〈読み〉　あに

〈口語訳〉　どうして昔の鶯や花であろうか、いや、違う

問五　あんしいず〔づ〕くんぞれいをしらん

問六　どうして忠信を理由に罪を得る者がいるだろうか、いや、いない

問七　エ

問八　イ

復習問題解答　第四講　疑問形　／　反語形

〔解説〕

①「**孰**」は、「**たれカ**」か「**いづレカ**」と読む。よって、正解はウ。「**能**」の「**よク**」という読み方も大事。使役の助動詞「使」の直下の名詞「之」には「**ヲシテ**」という送り仮名をおくる。

②「んや」は反語の句形。よって、正解はイ。

③「豈～哉」は反語の句形。よって、正解はウ。

④「不敢～」は「あへて～ず」で、「決して～ない」の意味。「敢不～」は「あへて～ざらんや」で、「どうして～しないだろうか、いや、する」の意味。返り点通りに読むと、AもBも最初が「敢」なので、a・f以外。その次に「ず」や「ざら」など、打消の読みが重複しているbとeも削除。そうすると語順より、Aがcで、Bがd。よって、正解はオ。

〔解答〕

①　ウ　　②　イ　　③　ウ　　④　オ